

イントロダクション

E-FIELD

Education For Implementing End-of-Life Discussion

本人の意向を尊重した
意思決定のための
相談員研修会



Education For Implementing End-of-Life Discussion

令和2年度人生の最終段階 における医療体制整備事業

- 本人の意思を尊重した人生の最終段階における医療・ケアを実現するため、
- 医療機関や在宅医療の場等において、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に則って、人生の最終段階における医療・ケアに関する意思決定等の際に本人や家族等の相談に乗り、必要に応じて関係者の調整を行う相談員を含む医療・ケアチームの育成をすること、また、医療従事者等にガイドライン及び人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）への理解を深めてもらうことで、人生の最終段階における医療・ケアについて本人の意思が尊重される環境整備に資することを目的とする



Education For Implementing End-of-Life Discussion

研修会での具体的な目標

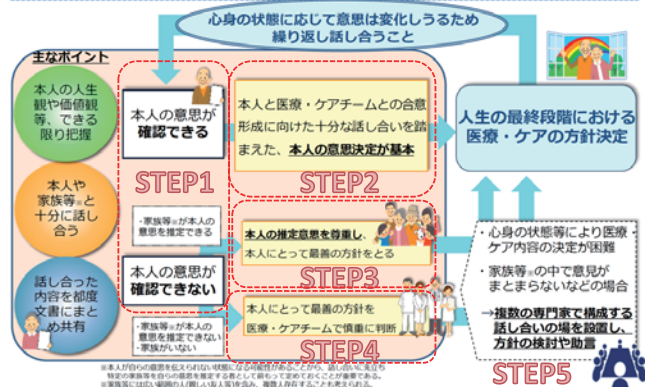
- 人生の最終段階において、本人の意向と最善利益を尊重した医療・ケアを実践するために
 - － 人生の最終段階の医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインを理解し実践できる
 - － 意思決定に必要な法的、倫理的な知識を習得する
 - － 患者本人と十分な話し合いを行った上で意思決定をすることができる
 - － 家族・介護者が本人の最善利益を考えることができるような相談・支援を実施することができる
 - － 本人に『これからの医療・ケアに関する話し合い』（ACP：人生会議）を適切に実施できる



Education For Implementing End-of-Life Discussion

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」 意思決定支援や方針決定の流れ（イメージ図）（平成30年版）

人生の最終段階における医療・ケアについては、医師等の医療従事者から本人・家族等へ適切な情報の提供と説明がなされた上で、介護従事者を含む多職種からなる医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本として進めること。



プログラムの構成

- 事前学習で法的・倫理的な基礎知識とガイドラインの概要を学ぶ
- 本人の意思決定に関する力を評価する（Step1）
- 本人との対話を通じた意思決定（Step2）
- 本人の価値観や考えを医療・ケアに反映させるための話し合い（ACP）
- 事前に本人が定めた本人の意思を推定する者と、本人にとって最善の方針を取る（Step3）
- 本人にとっての最善の方針を医療・ケアチームで慎重に判断（Step4）
 - － ひとりの患者さんの経過を追っていきながらケースを通して学ぶ



Education For Implementing End-of-Life Discussion

研修会での留意点

- 講義のときはマイクをミュート、カメラはオンで
- グループワークのときは、カメラもマイクもオンで
- 手元にワークシートがあることを確認してください
- テキストを参照しながら進めてください
- 質問があるときはチャットに書くか、挙手をお願いします



Education For Implementing End-of-Life Discussion

ファシリテーター紹介



Education For Implementing End-of-Life Discussion